

運輸安全マネジメントの取組について

令和2年5月1日

株式会社 森山

代表取締役 山口 明子

①【安全確保に関する基本理念】

弊社は《安心安全な運転操作がプロ運転者としての最大の使命》というスローガンの基に道路運送法第1条に定める目的を果たす事を使命としている。

その使命を果たすために《心のゆとり・時間のゆとりで無事故運転に努めよう》という社訓を設定している。

②【輸送の安全に関する基本的な方針】

1. 安全確保の最優先がバス事業者の使命であることを深く認識し、社長及び社員一同が安全確保に最善の努力を尽くす。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規定を遵守し厳正かつ忠実に職務に遂行する。
3. 安全管理体制を適切に維持するために不断の確認を迎合励行する。
4. 輸送の安全に関する情報については積極的に公表する。

③【令和2年度安全目標及び目標の達成状況】

(1)達成状況

1. 重大事故の発生件数 目標 0件
令和1年度の重大事故は0件でした。【達成】

2. 有責事故・物損発生件数 0件
令和1年度の有責事故・物損発生件数は3件でした。【未達成】

(2)【令和2年度の目標】

1. ①(A)重大事故発生件数 0件
人身事故・踏切・物損・対物 30万円以上
- ②(B)物損・対物 10万円以上 1件
- ③(C)軽微な接触 3件

④【自動車事故報告規則第2用条に規定する事故に関する発生状況】

事故件数 0件

【事故に関する情報公開】

順次弊社HPに掲載する。

⑤【令和1年度に講じた措置】

1. 点呼時における乗務員の体調把握
2. 厳正な点呼の実施による乗務員の体調管理の強化
事前計画による労務管理の強化
3. 運行前にあらかじめ交番表を作成し、労基に抵触する問題はないか等事前に確認を行う。
輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を立て実施
運転者に対して行う指導及び監督の指針は運輸安全マネジメントの13項目に則り計画を立てて行う。
年に1回以上の避難訓練及び非常用信号・発煙筒及び消火器の使い方訓練の実施
事務員を含めた救命講習の受講
年1回以上の回数で全従業員に対して労基法及び改善基準告示の定める内容について教育を行っている。

【令和2年度に講じようとする措置】

1. 厳正な点呼の実施
2. マニュアルに沿った確実な点呼
3. 視野を広く持ち防衛運転を心がける
4. バック時、右左折時の安全確認を徹底する。
5. 車間距離を十分に取って追突事故防止に努める。
6. 巻き込み防止の為、交差点では一時停止を徹底する。
7. 緊急時以外の通信機器の使用は控える
8. 気持ちにゆとりを持ち、速度厳守に努める

⑥ 輸送の安全に関する具体的な教育計画策定と実施

1. 安全管理体制の構築
2. 安全運転義務違反の防止
3. ヒヤリ・ハット体験で事故防止対策
4. 車内事故防止と接客

5.年間の教育計画を立て、指導監督指針及び法令で定められた内容の教育。

6.その他、安全会議を4半期に度の頻度で管理職が集合して行う。

⑦ 内部監査

本支店間の内部監査を実施し、軽微な改善事項を除き異常はありませんでした。

⑧ 予定している安全投資

2. 輸送の安全に関する機器・設備の積極的な導入

予算 1,720 万

3. 先進安全自動車(A S V)の積極的な導入

① 乗合2台

② 貸切4台

⑨ 安全統括管理者

伊藤 ひとみ

⑩ 安全にかかる情報の伝達体制及び組織体制図 別紙あり

⑪ 安全管理規定 別紙あり

安全に関する予算(全体)

令和2年5月1日
株式会社 森山
代表取締役 山口 明子

【輸送の安全に係る予算】

車両修繕費・輸送の安全に係る機器・設備・教育費に関する予算。

令和2年度予算額

・車両管理費(検査・修繕費等)	¥10,770,000
・研修費	¥ 500,000
・冬用タイヤ交換・購入費	¥ 2,000,000
・運行管理システム	¥ 500,000
・健康診断	¥ 1,400,000
(定期・SAS・脳ドック他)	¥ 1,500,000
・コロナ対策費	
① ウイルス除去装置	¥ 300,000
② 非接触型体温計	¥ 30,000
③ マスク等感染対策品 (消耗品)	¥ 200,000

合計 ¥17,200,000

その他、新車導入(2台)、ASV(先進安全自動車)、車両を導入。